

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆消費者ローン残高、11年ぶり高水準 スマホ経由が主流に

・消費者ローンの貸付残高が伸びている。若年層がスマートフォンでの借入れを増やしているため、直近の残高は約11年ぶりの高水準となった。LINEクレジットやメルペイといった新興勢の伸びが目立つ。物価高による家計の厳しさも影響しており、大手貸金業者の貸倒費用は増加傾向にある。

◆大企業の景況判断指数、4期連続プラス 1～3月

・内閣府と財務省が発表した1～3月期の法人企業景気予測調査は、大企業全産業の景況判断指数(BSI)はプラス2.0。4期連続のプラス。価格転嫁の進展がみられた非製造業が押し上げた。25年1～3月期の大企業製造業はマイナス2.4と3期ぶりのマイナス。原材料価格の上昇などで食料品製造業がマイナス16.5と押し下げ。

◆景気、一部に慎重論も 民間予測は1～3月期年率0.2%増

・内閣府は2024年10～12月期の国内総生産(GDP)の改定値を公表した。24年暦年では0.1%増とプラスを維持した。民間エコノミストの予測では、1～3月期も前期比年率で0.2%増のプラス成長を維持する見通したが、けん引役となってきた外需に不透明感が漂い始めるなど、景気の先行きには慎重な見方も目立った。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆無電柱化、工事の着工は順調 宅地などでは新設電柱が増加

・国土交通省が公表した無電柱化の推進に関する取組状況によると、2025年度末までを期とした「第8期計画」の目標となる4000kmのうち、約9割にあたる3600kmで計画協議に着手。このうち約2200kmで工事を実施、目標を上回る進捗。47都道府県による地域版の無電柱化推進計画も進められ、570市区町村でも計画が策定。

◆「特定技能」、企業負担軽く 報告義務を年4回→1回に

・出入国在留管理庁は4月から、人手不足対策の在留資格「特定技能」の手続きを簡素化。受け入れ企業の報告義務を年4回から年1回に減らし、原則対面だった外国人との面談はオンラインも認める。企業から負担が大きすぎると不満が出ていた。国内人材の確保を図っても人手不足が深刻な業種に限り2019年に導入。

◆ガスバーナーで事故、5年で100件超 原因7割が製品不良

・ガスバーナー(ガストーチ)と、取り付けたガスボンベに関する事故が、2024年3月までの5年間で計129件報告され、製品評価技術基盤機構(NITE)は注意を呼びかけ。事故のうち製品不良が7割を占め、海外製品が目立つ。国の規制対象になり、安全基準に適合すると認めた製品のみ、「PSLPGマーク」を表示して販売可能。

《 注目商品 》

■三協立山 サーモウッド使用の格子フェンス「フレラインフォルテ 木製格子」

・大型フェンスの格子部分に熊本県産スギ材を加工したサーモウッドを使用。220℃以上の高温で熱処理し、薬剤を塗布・注入することなく高い防腐蚀性・防虫性を実現。反りや割れなどの経年劣化も抑制。支柱と胴縁に高強度のアルミ型材を使用し、強度と耐久性を高めた。



■ノーリツ、スリム型ノンフィルターレンジフード「Curaraシリーズ」

・スリム型ノンフィルターレンジフードの「Curara(クララ)シリーズ」をモデルチェンジし、3月3日より発売。オイルトレイとワンタッチで外せる内部ファンの表面加工をフッ素塗装に改良し、既存カラー「シルバー」を温かみのある「ウォームシルバー」に変更。



■LIXIL、「DTL-DESIGNER's TILE LAB-」で内装壁タイル

・設計者やデザイナー向けにタイルの使い方やコンセプトを提案し、INAXブランドのタイルの「いま」を紹介する「DTL-DESIGNER's TILE LAB-」に、内装壁タイル4商品と大形床タイル4商品を追加し、4月1日より全国で発売。デジタルプリントなどの技術により大きく進化。

